

第 1 0 9 7 回教育委員会会議録

1 日 時 平成 3 1 年 4 月 2 6 日（金） 午前 9 時 0 0 分～午前 1 0 時 4 6 分

2 場 所 教育委員会室

3 出席者 東村教育長 吉井委員 西野委員 南部委員 原委員 山本委員
松田教育振興監 清川学校教育幹 片柳教育政策課長
小林学校振興課長 油谷高校教育課長 鈴木課長（高校学力向上）
山本義務教育課長 塚本課長（小中学力向上）

4 議 題

日程第 1 第 1 号議案 平成 3 2 年度福井県公立学校教員採用選考試験について

日程第 2 第 2 号議案 福井県立高等学校の授業料の減免等に関する規則の一部改正
について

日程第 3 第 3 号議案 福井県奨学育英基金管理規則の一部改正について

日程第 4 第 4 号議案 福井県教科用図書選定審議会委員の任命について

日程第 5 第 5 号議案 福井県心身障害児就学指導委員会委員の委嘱について

5 審議事項

（１）開会宣告 午前 9 時 0 0 分

（２）会議録署名人の指名 西野委員 山本委員

（３）議事要録

教育長 本日の日程第 4 第 4 号議案と日程第 5 第 5 号議案、協議報告事項の 5 から
7 については、事務執行上、公開が適当でないことから、非公開とする旨発議

———当該議案を非公開と決する———

教育長 日程第 1、第 1 号議案を議題

学校振興課長 資料に基づき説明

教育長 ここ数年の教員採用数を教えてほしい。

教育振興監 今年は 2 0 0 名の募集に対して、採用は 1 9 9 名であった。3 0 年度は 2 4
0 名、2 9 年度が 2 3 3 名、2 8 年度が 2 1 5 名である。なお、2 7 年度は
1 9 0 名であり、2 8 年以降は 2 0 0 名以上の採用が続いている。

原委員 特別支援での採用数は増えているのか。

学校振興課長 特別支援学校で約 15 名、小中学校の特別支援学級で 3 名ほどの配置を考えている。

教育長 特別支援での 18 名の採用は、多い方なのか。

学校振興課長 昨年は 14 名であったが、例年 20 名前後である。

原委員 小中学校の特別支援学級は、何クラスぐらいあるのか。

高校教育課長 特別支援学級について、小学校で 166 校 290 学級、中学校で 66 校 129 学級、合計で 232 校 419 学級である。

教育長 以前はある程度の人数がいないと特別支援学級を設置しなかったが、現在は支援が必要な子どもが 1 人でも、必ず特別支援学級を設置することになっている。こうした状況から、近年特別支援学級数は増加している。

原委員 特別支援学級には特別支援の免許を所有する教員が配置されるのか。

教育長 福井県では、特別支援学級に配置されている教員の約 50 % が特別支援の免許を所有している。この数字は全国的に高い方ではあるが、特別支援の免許を持っている教員が必ず配置されるわけではない。特別支援学校に配属されて、そこで特別支援の免許を取得する教員も多い。

西野委員 教員の離職率の推移については、どうなっているのか。近年、増加しているなどの傾向は見られるのか。

教育振興監 極めて少なかったのだが、少しずつ離職者は出てきている。

学校振興課長 年度末の 35 名の退職者のうち、20 歳代は 9 名いた。5 名は結婚で県外に移っており、4 名は転職であった。年度途中の退職者については、20 歳代は 4 名おり、病気による退職が 3 名、転職が 1 名であった。いた。

南部委員 外国語資格による加点制度は、今年から導入したのか。また、1 次選考と 2 次選考のどちらに加点されることになるのか。

教育政策課長 加点制度は従前から実施している。加点については 1 次選考の時点で行くことになり、総合点数に含まれる内訳ではなく、別枠の加点になる。

南部委員 この加点制度によって採用された先生はどれぐらいいるのか。

教育振興監 影響力は大きく、結構な人数が採用されている。英語の先生の場合は、ほとんどの受験者が資格を取得してくるので、あまり差がつかない。しかし、一般の先生の加点の場合は、それによって変動することはある。

教育政策課長 小学校の先生の場合は、最大１５点の加点があるので、差が大きく出る。

南部委員 今後の英語教育のことを考えると、外国語資格を持っている先生が多いと良い。

教育長 中高英語の受験者の中で、英検１級を持っている受験者はなかなかいない。しかし、全校種教科の受験者に対する加点で英検準１級を持っている人は多い。福井県の中高の英語の先生で準１級を持っている先生の割合は全国でも一番高いのだが、これは採用試験での外国語資格による加点制度も大きく影響していると思われる。

南部委員 中国語資格による加点は、昨年でどれぐらいいたのか。

学校振興課長 中学校の国語で、１５点加点による合格者、１０点加点による合格者はそれぞれ１名ずついた。

山本委員 外国語資格による加点で、対象を英語と中国語としているのはなぜか。

西野委員 近年増加しているブラジル系の子どもたちのことを考えるとポルトガル語の方が需要がある気がする。

教育振興監 文科省が出している教員に求められる英語の資格は、英検準１級以上であり、取得に向けて先生方も頑張っている。外国語資格による加点は、そういった資格をあらかじめ採用試験の時点で求めているというのがねらいである。また、小学校における英語の教科化によって、どの教員も英語の授業をする必要性があるので、英語の加点には意味があるものだと考えている。

中国語の加点については、中国語を専攻する高校があるので加点の対象としている。

ポルトガル語については、教員志望者全員にその資格を求めるべきというよりも、資格を取得していることによって教員の配置を考えていくことで対応していくべきであり、資格による加点までは考えていない。

原委員 採用選考試験について、学生に対する説明はどうなっているのか。また、昨年度、県外の大学等で説明会を実施していたが、その効果について分かっていることがあったら教えてほしい。

学校振興課長 説明会については、各会場をおさえて昨年度と同じような形で実施していく。

教育政策課長 一昨年度から、福井県の教職に対する魅力を伝えるために、高校生やその保護者、大学生を対象とした教員志望者セミナーを開催している。業務説明会に近い形で、実際に若手教員に来てもらい壇上でクロストークみたいなものを行っている。一昨年度は教育総合研究所、昨年度は教育総合研究所とプラザ萬象の２会場で、県外の大学に進学した学生が帰省するお盆の時期に開催した。一年目が１２０人、２年目が２会場で１８０人が参加した。

民間企業が景気の良い状況であるので、教員採用の情報を早めに出していきたいと考えており、大学生だけでなく高校生も対象としている。また、大学に進学する県内の高校生に対して、教職免許取得を推奨するビラの配布も行っている。

教育長 高知県などは、人材を確保するために他県より早い時期に東京や大阪などで採用試験を実施している。

南部委員 全国都道府県教育委員会連合会の総会の時に、良い人材を他県から集めるために他県よりも早く採用試験を実施したり、出張して大阪や東京で試験を行ったりするなど、積極的な取り組みを行っていると高知県の教育長から聞いた。

他県から採用しても3、4年で地元に戻る人もいるらしいが、それを意識して先読みしてしまうと人を集めることはできないと話していた。今後、福井県も良い人材を集めるための方策を考えていかなければならない。

教育長 他県での採用試験の実施も考えていけないといけないが、高知県は早めに採用試験を実施しても、他県の採用試験が終わると県外に合格者が流れていってしまうので、数が読めなくて大変らしい。

原委員 ぜひ、新しいことをやってみて、良い方法を見つけていてもらいたい。

教育長 第1号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第2、第2号議案と日程第3、第3号議案を議題

学校振興課長 資料に基づき説明

高校教育課長 資料に基づき説明

南部委員 和暦ではなく、西暦を使うというのは大丈夫なのか。両方を使用することは認められているのか。

学校振興課長 両方とも使える。

教育長 第2号議案と第3号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

(1) 平成30年度英語教育実施状況調査について

南部委員 鳥取県では、何か特別な取り組みを行っているのか。

義務教育課長 鳥取県の英語担当教員の英語力について、CEFR B2レベル以上を取得している教員の割合は、平成29年度では83.3%であったが、平成30年度には97.5%に上がっている。この要因について、鳥取県に聞き取り調査を行ったところ、平成28年、29年にTOEICの受験料、セミナー、問題集などの費用を県が全額負担していることが分かった。平成30年度も自費で受験している教員も多く、教員の受験体制がしっかり整えられているようである。

教育長 平成30年度の福井県の中学生について、前年度の62.8%から61.2%に下がっているのは、受験の英検による加点が5点だけになったことも影響しているものと考えられる。

また、小学校の英語の教科化に伴い、子どもたちは小学校でしっかり4年間英語の学習をしてくるので、中学校1年生の英語の授業のレベルをいかに上げていくかが課題となってくる。今後は、中学校の先生に小学校の英語の授業を見にいらしてもらうなど、小中の連携を密にすることが重要になる。

(2) 平成31年度福井県高等学校入学者選抜学力検査の結果について

教育長 英語の選択問題について、昨年まではA問題もB問題も同じ長文を使っていたのだが、A問題を選択した生徒には読み切れない点もあったので今年度は異なる長文で出題した。しかし、意外に選択問題Aの平均点が低かったので、今後に向けてしっかり分析していきたい。

また、今年度の学力調査から初めて英語が導入されたが、スピーキングが結構難しく様々な課題が出たので、高校入試でのスピーキングテスト導入に向けて、この点もしっかり検討していきたい。

英検の加点について、2級の加点がなくなったので、2級を受験する生徒が少なくなった。準2級の加点になっている高校を受験した生徒は、3級を受験せずに準2級だけ受験している生徒が多くなった。

西野委員 スピーキングテストは、質問に答えるスタイルなのか、1つのテーマについて決められた時間に自分の意見を述べるようなものか。

高校教育課長 昨年度の試行テストでは、聞かれたことに対して単語で答える問題や文章で答える問題もあった。

教育長 文章だけでなく、単語で答えることも重要なコミュニケーションであるという先生もいるので、スピーキングテストの方法について議論している所である。

西野委員 最終的にどういう会話をできるようになるかが重要である。単語でも会話として成り立つが、最終的なコミュニケーションとなると文章でしっかり伝えることが大切なのではないか、何をねらいとするかで試験の内容が変わってくる。自分の意見を話すことをねらいとするならば、1つのテーマについて決められた時間内に英語で主張するようなテストも意味があることだと思う。

学校教育幹 昨年度実施した試行テストではG T E Cを行った。このテストでは、4タイプの質問があり、1つ目はお母さんにプレゼントしたいのはどれですかという問いで、花束や帽子などの選択肢から単語で答えるものであった。次は、4コマ漫画みたいなものがあり、登場人物の行動についてその理由を聞く問題であった。最後が、あなたの夢を答えなさいという問いで、漠然と答えるのではなく、登場人物の会話の続きを考える形式であった。どの問題も学習指導要領に準拠した形のものであるので、普段の授業で培っている力を測定するものであった。

4月に実施した学力調査は、受験者と先生と生徒の3人の人物がいる設定で、生徒が家族の写真を見せて先生と会話をしている状況で、次にあなたは何を質問しますかという問いであった。制限時間が30秒と短く、場慣れをするためにもトレーニングが必要な感じがした。

(3) 平成31年3月県立高等学校卒業者の就職状況について

教育長 学科によっては、有効求人倍率が4倍、5倍あり、たくさんの会社から求人募集があり、その通りの結果になった。あとは、早期の離職は気になる。

山本委員 これは県内企業だけの数字なのか。県内と県外企業の内訳を教えてほしい。

高校教育課長 県立高校については、県内が91.5%、県外が8.5%であり、9割以上の生徒が県内に就職している。

原委員 産業人材コーディネーターには、どのような人が就いているのか。

高校教育課長 企業を退職された方が中心であり、一部高校の元校長先生などもいる。そういう方に企業を見てもらい、高校生と面談をして企業とつないでいてもらっている。

教育長 景気の悪いときは求人開拓支援員、景気が良くなると産業人材コーディネーターとなる。早期離職した子の相談にも乗ってくれるので、非常にありがたい。

(4) 平成31年度全国学力・学習状況調査について

教育長 問題が長く、読むのが大変である。

西野委員 時事問題になると何を言っているのか分からなくなり、英語だけの力ではなかなか解くことが難しくなる。

教育長 国語では物語文がなくなり、説明文が多くなった。

教育長 日程第 4、第 4 号議案を議題

義務教育課長 資料に基づき説明

教育長 第 4 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

教育長 日程第 5、第 5 号議案を議題

高校教育課長 資料に基づき説明

教育長 第 5 号議案について、原案に対する異議の有無を確認

—————原案どおり可決—————

◎協議・報告事項

(5) 平成 31 年度教育委員会関係表彰について
・優良 P T A 表彰

(6) 福井県教育振興基本計画の改定について

(7) 教育委員会に対する請願について

教育長 本日の会議の終了を宣言

6 閉会宣言 午前 10 時 46 分